

2020/6/23：湘現・みんなで唄おう！

6/23の催行記録&8/10について！



みんなで唄う風景



石川リーダー&山内先生



お茶タイムで談笑

前日の悪天候と打って変わったお天気を、お天道様がプレゼントしてくださり、開催決定が、ようやく「6月20日」に決まるなど、いろいろと難産でしたが、「参加申し込み者の21人」が、全員揃って出席の珍事？も手伝い、「今日は上手くいく」のではとの予感がしてまいりました。

当日は、運営に当たり、学習センター事務局の方と、綿密な打ち合わせを行い、5曲ごとに窓の開閉、マスクの装着、こまめな手洗い、お喋りなど、皆さんが、実に気持ちよく励行してくださるなど、「流石！湘現会の会員さんは凄い！」と唸らせる光景があちこちに展開されると同時に、「センターの係りの人」が、随所、随所の、懇切丁寧な示唆には、感謝そのものでありがとうございました。

令和2年の幕開けが、1月23日、「玉縄学習センター」で、「第17回・みんなで唄おう！」として開催され、その後、まさか「新型コロナウイルス」の到来などはユメユメ思いもせぬ出来事でした。

6月までの5か月間、5月に計画するもお流れになり、さらには2月から、「湘現会」の行事がほぼ全滅状態になり、今回の催行にあたって、当然ながら、「何事にも自粛」の環境の中で、危ぶまれる状況でした。

しかしながら、「石川リーダーの熱い思い」が、スタッフ仲間にも通じたのでしょうか。

山内先生やスタッフの方々からは、早々にOKを頂き、入念な準備に着手いたしました。

今回は、「コロナの怖さを知り尽くした」参加希望者21名の方々も、おそらく参加には躊躇しながらの申し込みと思うに、蓋を開けてみると、規律正しい行動が、見事なまでに発揮され、唄う際も、「マスクの装着率100%」で、幹事としては、懸念していたことも、「案ずるより産むが・・・」と、流れに任せ、安心感すら湧いてきました。

3時間近く、およそ6か月間の空白を埋めるには、それなりの興奮もありでしょうに、小声で談笑、唄い方も、従来に比して控えめなど、身ぶり、手ぶりでお互いの元気を確かめあっておりました。

さて、来る8月10日には「九ちゃんと古関裕而の歌」を、皆さんと楽しもうと、企画していましたが、前日は「8月度定例会」や「お盆時期」などを考慮して、「分科会としての主催」は、諸般の事情から鑑みて中止させていただくべく、深くお詫び申し上げます。

尚、滅多に抽選にも当たらない「玉縄学習センター3F集会室」を確保していますので、代案として、山内先生のピアノ演奏で「歌と互いの健康を語ろう！」と題して、会員さんの自主参加で、如何なものかと、ご提案したところ、12人の方が手を挙げられ、皆さんのご希望など、堀河がお聞きして、「推進チーム」を立ち上げ、プランニングしてみたいと考えていますのでよろしくお願いいたします。

次回の「第19回・みんなで唄おう！」の日程は、9月12日（土）、9:00am～正午まで、本日と同じ場所で開催できることになりましたので、併せてご報告申し上げます。

今回の開催が、皆さんから会えて良かったとのお言葉を頂戴し、改めてお礼を申し上げ、次回をご期待ください。

令和2年6月23日 幹事：堀河記